

令和五年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、春の花が咲き誇り緑の風が薫るこの岐阜県立国際園芸アカデミーへのご入学おめでとうございます。

ご列席のご家族の方々にも、心よりお祝いを申しあげます。

本日、皆様とともに入学式を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。

また、この度はご多忙にも関わらず、岐阜県議会の加藤副議長はじめ議員の皆様、可児市長様、そして多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

皆様方には、平素から本校の教育運営に多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことにこの場をお借りしまして改めて厚く御礼申しあげます。

さて、国際園芸アカデミーは開校二十年目を迎え、これまで卒業生は、それぞれが生産法人、園芸流通・小売業、造園施工、公園管理などの幅広い分野において活躍してくれています。

これからの長い皆さんの人生において、人との出会いはまさに天文学的な奇跡なのです。

「一期一会」とは、初めて会う人との時間を大切にすることだけではありません。いつも出会っている人に「同じ時間は二度とこない」と思って大切に關わることです。家族や友人、身近な人と過ごす何気ない時間は、一生に一度きりしかない出会いの繰り返しなのです。

すれ違った人、好きな人、嫌いな人、助けられた人、喧嘩した人、やさしい人、厳しい人、出会うすべての人が奇跡のように巡り合っているからこそ、一つ一つの出会いに感謝して、大切にしてください。

皆さんが学んでいく中では、いろいろな壁にぶつかるかもしれませんが、決してひるむ必要はありません。前に進んだからこそ壁にぶつかるのであって、ぶつかりたくなかったら立ち止まったり下がればいいのですが、それでは何の成長も

ありません。何事にも果敢に挑戦してください。

挑戦する中で耳に入る他人の声と共に、体の中に湧き上がる自分の「心の声」があるはずです。「何かが違う!」「何かがおかしい!」と感じたらその気持ちも大事にして、我慢することに慣れない、安易に人の意見を聞かない、そんな心の声を信じてください。

そして今は「経験がなくてもいい」「知識がなくてもいい」心の底から「やりたい」かどうかです。「やる気」さえあればすべて変えられます。

そして、これからの学生生活では、次のような気持ちで過ごしてくれることを希望します。

- ・どんな自分も許すこと
- ・自分と向き合えること
- ・執着しないこと
- ・求めすぎないこと
- ・自分を見失わないこと
- ・楽しもうとすること
- ・思いやること
- ・頑張りすぎないこと
- ・自分の気持ちに素直になること

そんな気持ちで過ごしてくれると心身ともに健やかにいられるはずです。

是非、国際園芸アカデミーでの2年間を大切に、時間を無駄にせず勉学に励んでください。そのために私たち教職員が丸となりサポートしてまいりますので、学生の皆さんは悔いのない充実した学生生活を過ごしてください。

最後に、新入生の皆さん一人ひとりが心身ともに健康で、新たな友人や二年生を始めとした多くの良き縁に出会い、その縁を生かして有意義な学校生活を送られることを心から願い、私の式辞といたします。

令和五年四月十一日

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共